

充電器を整備する

平日の平均走行距離は、50km以下が約9割。家庭や事業所などで充電できれば、十分な場合も多いです。

プライベート領域	パブリック領域（公共用）	
基礎充電 家庭や事業所など、日常的に駐車する場所	経路充電 移動の途中などの場所	目的地充電 買い物やレジャーなど、行き先で駐車する場所
普通充電器 滞在時間：長 定格出力：3～6kW	急速充電器 滞在時間：短 定格出力：10kW～	普通充電器 滞在時間：長～短 定格出力：3～6kW
 戸建住宅 事業所 集合住宅	 道の駅 コンビニ・GS 自動車販売店 SA・PA	 公共施設駐車場 商業施設 行楽地ゴルフ場 宿泊施設
家庭での充電 滞在時間：長 自宅にいる間に充電できます。マイカー選びのポイントに！		

充電器を選ぶ

充電器は、普通充電器、急速充電器に分けられます。運用方法や設置場所にあった機種を選ぶことが大切です。

	普通充電器 3～6kW		急速充電器 10kW～
電力仕様	電源側：交流単相100～200V 車側：交流100～200V		電源側：交流三相200V等 車側：直流450V
充電器のタイプ	コンセント	壁面取り付け スタンド	1口 複数口
充電ケーブル	充電ケーブルは別（車載のケーブルを使用）	充電ケーブル付き	充電ケーブル付き
充電スピード※	8時間で50%程度	4時間で50%程度	30分で70%程度
メリット	整備費用を抑えられる。	ピークコントロールや通信等が可能な機種がある。	短時間で充電ができる。

※ 充電出力やバッテリー容量により異なります

県 先進環境対応自動車導入促進費補助金 EV・PHV等の導入に係る経費の一部を補助します。 愛知県 自動車 補助金	県 充電インフラ整備促進費補助金 充電器の設置に係る経費の一部を補助します。 愛知県 充電インフラ 補助金	国 経済産業省の補助金 県の補助金と併せてご活用いただけます。 経済産業省 補助金
--	--	--

愛知県環境局地球温暖化対策課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL:052-954-6217 FAX:052-955-2029

あいちの環境 地球温暖化対策



2025年3月発行

未来へつなぐ！

EV・PHV&充電インフラ導入ガイド【概要版】

環境にやさしい自動車

2050年のカーボンニュートラル（CO₂排出量実質ゼロ）の実現に向けて、毎日の自動車利用においても環境配慮と利便性の両立が欠かせません。環境負荷の少ない移動や物流の選択肢の一つとして、走行時にCO₂を排出しないゼロエミッション自動車（EV・PHV※・FCV）の普及加速が求められます。※PHVはEV走行時

	電気自動車（EV）	プラグインハイブリッド自動車（PHV）	燃料電池自動車（FCV）
燃料	電気 	ガソリン + 電気 	水素
特徴	外部電源から車載バッテリーに充電した電気を用いて、モーターで走行。 ●ガソリンを使用しないため、 走行時のCO₂排出量はゼロ ●騒音・振動が少ない。発進は力強く加速もスムーズ	EVとHVの長所を合わせて進化させたクルマ。EVと同様に、外部電源から直接バッテリーに充電した電気によるモーター走行と、必要に応じてエンジンを作動させたHV走行が可能。 ● EV走行時はガソリンを使用しないため、走行時のCO₂排出量はゼロ	水素と空気中の酸素を化学反応させて電気を作る「燃料電池」の電気を動力源としてモーターで走行。 ● 走行中の排出は水のみでありCO₂排出量はゼロ

導入のメリット

EV・PHV・FCVは走行時のCO₂排出量がゼロであるほか、EV・PHVの蓄電機能の活用により、再生可能エネルギーの導入拡大に貢献するなどのメリットがたくさんあります。

エコ 走行時のCO ₂ 排出量がゼロ（PHVはEV走行時） 	走行性 騒音や振動が少なく、加速もスムーズ 	ランニングコスト 同じ距離を走るなら、ガソリンより電気が安価 	手軽に充電 自宅や事務所等の駐車場所で充電
エネルギー・マネージメント EV・PHVと太陽光発電の組み合わせで電気料金を節約 	おトク 購入時の補助金や税制優遇等あり 	企業経営 企業としてのESG対応をアピール 	非常用電源 災害時に様々なシーンで活用

事例紹介



Q. EVを導入する時に必要なことは？

A 走行距離、充電頻度、稼働パターン等の利用状況に合う車種を選定しましょう。

→ 事例1



Q. 充電器を整備する時に気をつけることは？

A EVの増車に備えた工事の計画をしましょう。

→ 事例1

急速充電器を設置する場合は、デマンド超過への対応が必要です。

→ 事例2



Q. 環境に配慮した企業経営の方法は？

A ESG経営の一つとして、環境に配慮した施設整備を行うことで、カーボンニュートラルに貢献し、企業アピールにもつながります。

→ 事例2

事例1 事務所・工場 株式会社鈴木文具

EVと充電器の一体的な導入

事例情報

ポイント

コメント

- ・ディーラーから、EVの燃料代節約効果や補助金活用のアドバイスがあり、利用状況に合うEVを導入。
- ・基礎充電を主体とするため、EV導入に併せて、駐車場に充電器を設置。
- ・利用状況、コスト管理等を総合的に判断し、導入する車種を選定する。
- ・配電盤の負荷試算を事前に実施し、必要な配線・ブレーカー容量を設定する。
- ・EVの増車に備え、充電器の増設が可能なスペースや電気容量を確保する。



株式会社鈴木文具	蒲都市旭町7番17号
設置時期	2025年1月
設置場所	平面駐車場(屋外)
充電器の種類	普通充電(6kW)1基

基本情報

営業車へのEV導入と充電器の設置を補助金を活用して一体的に行うことで、導入コストを削減できるほか、燃料代の節約につながります。また、給油時間が削減でき、業務の効率化も期待できます。(株式会社鈴木文具 ご担当者様)

事例2 事務所・工場 八洲建設株式会社

環境に配慮した施設整備

事例情報

ポイント

コメント

- ・「未来に誇れる街づくり」を掲げる経営理念のもと、社員が充電器設置を提案。
- ・本社「ZEB」改修工事に伴い、ソーラーカーポートや蓄電池の整備等を実施し、給電能力を強化。
- ・従業員や顧客・取引先の満足度向上だけでなく、カーボンニュートラルやSDGs達成に貢献し、企業としての環境に配慮した取組のアピールにもつながる。
- ・急速充電器を導入する場合、安定的な運用のため、デマンド超過を抑制する仕組みが必要である。



八洲建設株式会社	平田市吉田町1丁目60番地
設置時期	2023年2月
設置場所	平面駐車場(屋外)
充電器の種類	急速充電(30kW)1基 普通充電(6kW)3基

基本情報

充電器の導入により、社用車・社員通勤車のEV化が進み、燃料代の節約効果がありました。また、災害時の非常用給電設備確保、さらには社員の満足度向上、人材獲得にもつながる多角的な導入効果があると考えます。(八洲建設株式会社 ご担当者様)



Q. 集合住宅(賃貸・分譲)に、他の物件にはない魅力付けをする方法は？

A 充電器の設置は、リフォーム等と比較して低コストでマンション価値の向上につながります。

→ 事例3

事例4



Q. 集合住宅(分譲)で整備する場合に気をつけることは？

A 入居者への説明会やアンケート等により、整備への理解を促し、合意形成を図りましょう。

→ 事例4

愛知県のWebページでは、その他の導入事例も紹介しています。EV・PHVや充電器の導入を検討する際に、ぜひご活用ください。



事例3 集合住宅 野田マンション

補助金を活用した住宅価値の向上

事例情報

ポイント

コメント

- ・リフォーム等と比較して低コストでマンション価値向上を図る良い方法だと感じ、導入。
- ・マンションオーナーが設置を決定。
- ・導入から運用までトータルサポートを行っている充電器メーカーに相談。
- ・EVユーザーの入居者の満足度向上だけでなく、低コストで住宅価値の長期的向上を実現する手段となる。
- ・設置場所・台数・出力数の相談から導入支援を受けられる専門業者も多く、効率的に設置を実現できる。



野田マンション	豊橋市野田町字野田17-4
施設形態	既築・賃貸
設置時期	2024年10月
設置場所	平面駐車場(屋外)
充電器の種類	普通充電(6kW)2基

基本情報

集合住宅は、充電器が未だ普及途上であり、充電器の設置により差別化できると考えます。行政が集合住宅の充電器の導入を支援し、補助金が広く高く設定されているタイミングで、設置できるとよいでしょう。(野田マンション オーナー様)

事例4 集合住宅 ザ・スクエア国府宮

入居者の合意形成

事例情報

ポイント

コメント

- ・将来的に入居者からEV・PHVユーザーが現れた場合の、事前の対策として充電器の導入を検討。
- ・入居者の意見を広く募るため、総会の前に事前アンケートを実施。
- ・集合住宅では、入居者との合意形成や区画の確保に時間を要するケースが多く、早期に充電器の導入を検討することが有効である。
- ・EV・PHVの普及動向、自宅充電の必要性等、入居者の不安や懸念に対する対応策や情報を整理して伝えることが重要である。



ザ・スクエア国府宮	稲沢市長野1丁目4-1
施設形態	既築・分譲
設置時期	2024年10月
設置場所	平面駐車場(屋外)
充電器の種類	普通充電(3.2kW)8基

基本情報

EV・PHVに対する情報は浸透していない面もあり、施設への充電器の設置に対し、判断に迷われる方もいます。集合住宅における合意形成にあたっては、EV・PHVの基本情報について、入居者に十分に周知することも重要であると考えます。(施工会社 ご担当者様)